NET RESOURCE MANAGEMENT

PRESS RELEASE

2026 年 11 月 27 日

報道関係各位

株式会社ネットリソースマネジメント

ネットリソースマネジメントとアクロニス・ジャパン サービス連携を開始

「オフィスカルテ」との連携により、PC のデータ保護に無理なく取り組める環境の実現を目指す

約 5 万社・60 万台の IT 機器管理実績を活かし、バックアップ導入状況や稼働状況の可視化を推進

株式会社ネットリソースマネジメント（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高野昌樹、以下「当社」）は、アクロニス・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：遠山尚雄、以下「アクロニス」）とのサービス連携により、当社が提供する IT 環境可視化サービス「オフィスカルテ」と、アクロニスの「Acronis Cyber Protect Cloud」を組み合わせた連携機能の具体化を進めています。

当社の「オフィスカルテ」は、これまで約 5 万社・約 60 万台の IT 機器管理に活用されてきました。今回の連携では、当社が培ってきた IT 環境の可視化・診断のノウハウと、アクロニスが持つ高度なデータ保護技術を組み合わせることで、バックアップの導入漏れや稼働状況を容易に把握できる仕組みを構築します。

これにより、専門人材や運用リソースが限られる中堅・中小企業においても、日常業務の中で無理なくデータ保護に取り組み、継続的に IT 環境の安全性を維持できる環境の実現を目指します。

■ 連携の背景と目的

サイバー攻撃の高度化・巧妙化に加え、システム障害や自然災害など、企業の重要なデータを取り巻くリスクは多様化しています。一方、中堅・中小企業では、IT 人材や予算などの制約から、十分なセキュリティ対策を講じることが難しいケースも少なくありません。

そのため、サイバー攻撃を未然に防ぐ対策だけでなく、万が一の事態に備えて重要なデータを保護し、必要なときにデータの復旧ができる状態を日頃から維持することも重要になっています。

特にバックアップは、単に導入・設定するだけでは十分ではありません。保護すべき端末への導入漏れやバックアップの失敗、保存容量の不足などを把握できていなければ、いざというときに必要なデータを復旧できない可能性があります。

当社は、こうした課題に対し、「オフィスカルテ」が持つ IT 環境の可視化機能を活用し、バックアップの導入状況や稼働状況を一元的に把握できる環境づくりを進めます。

企業が限られた人員や予算の中でも、必要な対策を把握し、継続的に実践できるデータ保護の仕組みを目指します。

■ 技術連携の内容

「Acronis Cyber Protect Cloud」は、バックアップをはじめとするデータ保護、サイバーセキュリティ、システム管理機能を備えたサービスプロバイダー向けプラットフォームです。

今回の連携では、「オフィスカルテ」と同プラットフォームとの連携を進め、以下の 3 つの観点で、導入から日常の運用、トラブル対応までの負担軽減を目指します。

利用場面	連携を目指す主な機能（計 8 項目）	利用者への価値
① 導入しやすい	初期設定の負担軽減／推奨バックアップ設定	初期手続きや設定の負担を軽減し、バックアップをスムーズに開始できる環境を実現します。
② 管理しやすい	シンプルな運用画面／ダッシュボードでの稼働状況表示／IT 機器一覧での導入有無表示／運用レポート・容量予測	未導入端末やバックアップの異常、将来的な容量不足などを把握しやすくし、日常の管理業務を効率化します。
③ 対応しやすい	バックアップ関連アラートの連携／SSO 対応	異常やトラブルの早期発見から対象端末の特定、問題解決までをスムーズにつなげます。

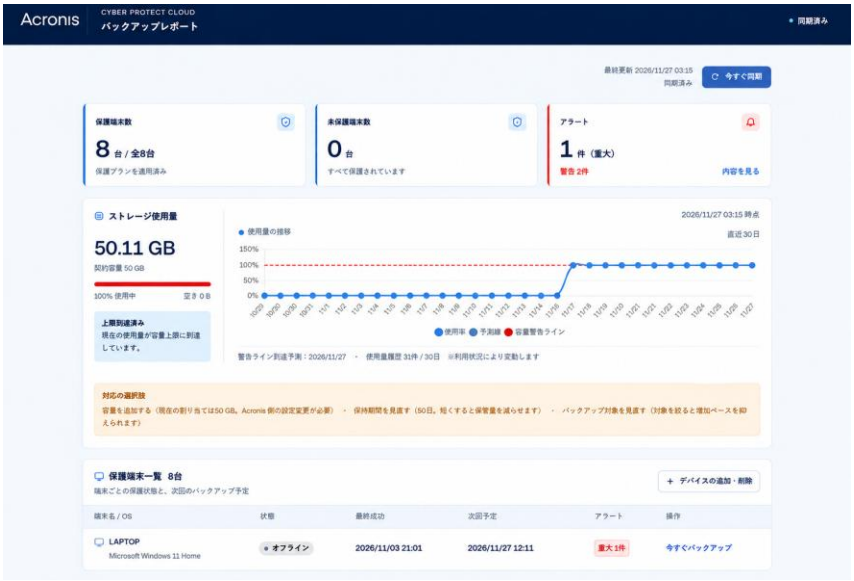
■ 目指す提供価値

当社が今回の連携で重視しているのは、バックアップを「導入して終わり」にしないことです。「導入状況を確認できる」「日々の稼働状況を把握できる」「異常に気づき、必要な対応につなげられる」。こうした一連の運用を、誰もが分かりやすく、無理なく継続できることが重要だと考えています。

「オフィスカルテ」がこれまで培ってきた、IT 環境を直感的に理解できるデザインと操作性を活かし、専門知識がなくても状況を把握し、必要な対応を判断できる環境づくりを目指します。これにより、企業の IT 担当者の運用負担を軽減するとともに、データ保護の実効性を高め、企業の事業継続を支援してまいります。



（オフィスカルテ ダッシュボード内に Acronis バックアップ情報を表示）



（Acronis バックアップレポート）

■ 今後の展望

サプライチェーン全体でセキュリティ対策状況を把握し、継続的に改善していくことの重要性が高まっています。

当社は今回の連携を通じて、これまで当社やアクロニスのサービスに触れる機会がなかった企業にも、分かりやすく、導入しやすく、継続して利用できるデータ保護の仕組みを届けていきたいと考えています。

今後も、パートナー企業との連携を通じて、企業の IT 環境に潜む課題を可視化し、具体的な改善や対策につなげるサービスの拡充を進めてまいります。

■ 株式会社ネットリソースマネジメント 代表取締役社長 高野昌樹のコメント

セキュリティ対策は、ツールを導入することがゴールではなく、日々の運用の中で継続的に活用し、その実効性を高めていくことが重要です。

私たちが目指すのは、専門人材が限られる企業でも、IT 環境やデータ保護の状況を分かりやすく把握し、必要な対策を無理なく継続できる仕組みです。

また、今後は SCS 評価制度などを通じて、サプライチェーン全体でセキュリティ対策状況を把握し、継続的に改善していくことが、これまで以上に重要になると考えています。今回の連携をその一助とし、企業のセキュリティ対策の実効性向上と、サプライチェーン全体の安全性向上に貢献してまいります。

今後もパートナー企業との連携を深めながら、企業の現場に寄り添い、IT 環境の安全性向上と事業継続を支援してまいります。

■ アクロニス・ジャパン株式会社 代表取締役社長 遠山尚雄氏のコメント

ネットリソースマネジメント様の『オフィスカルテ』に『Acronis Cyber Protect Cloud』が採用されたことを大変うれしく思います。

事業継続に必要なデータを確実に復旧するためには、どの端末が保護され、バックアップが正常に実行されているかを日頃から把握できることが重要です。『オフィスカルテ』による IT 環境の可視化とアクロニスのデータ保護テクノロジーを組み合わせることで、中堅・中小企業の IT 担当者が限られた人員でもバックアップ状況を把握し、必要な対応を取れる仕組みづくりを支援します。

今回の連携を通じて、お客様の事業継続にさらに貢献してまいります。



（左）アクロニス・ジャパン株式会社 代表取締役社長 遠山尚雄氏　（右）当社 代表取締役社長 高野昌樹

■ 株式会社ネットリソースマネジメントについて

株式会社ネットリソースマネジメントは、「働く空間から生まれるデータで働き方を変える」というビジョンのもと、「可視化プロバイダ」として、企業の IT 環境や働く現場に潜む課題を可視化し、新たな価値の創出に取り組んでいます。主力サービスである IT 機器統合診断サービス「オフィスカルテ」は、企業のネットワーク機器や IT 資産の状態を可視化し、セキュリティ状況の診断や IT 資産・業務管理などに活用されています。

今後も IoT、IoB、センシングなどの技術を活用し、企業の現場に存在するさまざまなデータを価値に変え、人と組織の可能性を最大化するサービスの提供を目指してまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ネットリソースマネジメント 担当：本田

03-6821-5100

press@nrminc.co.jp

サービスの利用、デモに関するご相談も受け付けています。